



TITLE:

# 総合研究(A)研究会「非線形揺動と秩序化過程」プログラム

AUTHOR(S):

---

CITATION:

総合研究(A)研究会「非線形揺動と秩序化過程」プログラム. 物性研究  
1986, 45(6): 99-100

ISSUE DATE:

1986-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/91892>

RIGHT:

総合研究(A) 研究会  
非線型揺動と秩序化過程, プログラム

1)

日時 昭和60年11月18日(月) ~ 20日(水)  
場所 松風荘, 南相模農林青年会館

11月18日 14.00 開会あいさつ連絡事項

A) 非線型揺動, カオス (14.15~16.00) 司会 蔵本由紀

1. 電荷密度波の運動に伴う非線型電気伝導 ----- 高山 一 (京大基研)
2. ソリトン伝播に対する鎖間相互作用の初果 ----- 川崎辰夫 (京大教養)
3. Fat Fractals in Quantum Chaos ----- 中村勝弘 (福岡政経)

休憩

B) 開放系秩序形成 (16.15~18.00) 司会 高山 一

1. Williams Domain の形成過程 ----- 植屋嘉実 (東大理)
2. Oscillator Lattice の協力現象 --- 篠本 滋, 坂田英継, 蔵本由紀 (京大基研)
3. 半導体レーザーにおけるモード競合 ----- 川俣保彦 (東大理)

夕食 (18.30~19.30)

班会議 (20.00~20.30)

11月19日

C1) パターン形成 (9.00~10.45) 司会 小川 泰

1. パターン形成のスケーリング理論 ----- 鈴木増雄, 劉勇 (東大理)
2. パターンにおけるサドル族 ----- 岡本 謙 (九大理)
3. 高分子ブロック共重合体のモルフォロジー ----- 太田隆夫, 川崎恭治 (九大理)

休憩

C2) つばき (11.00~12.30) 司会 小川 泰

4. -IC 秩序形成過程 ----- 山田安定 (阪大基礎工)
5. 樹枝状結晶とフィクソアグリゲートの関係 ----- 松下 重, 沢田康次 (東大通研)

昼食

D) フラストレーション (14.00~15.45) 司会 鈴木増雄

1. 非周期的な「結晶」Quasicrystal の構造 ----- 小川 泰 (筑波大物)
2. リオハススピンガラス  $Pd_{1-x-y}Fe_xMn_y$  における緩和 --- 都 福仁 (北大理)
3. スピンガラスの平均場理論 ----- 根幸幸見 (北大理)

2)

11月19日 休 憩

E) 非線型動力学系 (16.00~17.45) 司会 山田 安定

1. 液晶電液品のトランスインジエクションの Kinetics ---- 石橋善弘 (石大・工)
2. 筋収縮のゲイジス ---- 八田一郎 (石大・工)
3. 電子スピン系の真温度状態 ---- 板本良友, 天谷善一 (阪大・理工)
4. Mg<sub>2</sub>In合金の秩序化過程 ---- 野田幸男 (阪大・理工)

懇親会 (18.30~20.30)

11月20日

F1) 異方性系の秩序形成 (9.00~10.10) 司会 松浦基浩

1. 一次元秩序形成とスピン相関関数 ---- 池田宏信 (工場の物理)
2. 三角格子反強磁性イジングのハセシバルグ模型  
の磁化過程 ---- 宮下 雅二 = 西森秀徳 (理大・理工)

休 憩

F2) つばき (10.25~11.35) 司会 池田宏信

3. 層状反強磁性体の三次元秩序と新しい  
エニバーサリティクラス ---- 川村 光 (阪大・教養)
  4. 層状化合物の秩序形成に関する問題 ---- 松浦基浩 (阪大・理工)
- 連絡事項等 閉会 11.45 会食後解散

○ 各人の割当時間は一律に 35分 (会場間時間) とされています。

○ 会場所在地図記番号等

〒413-01 熱海市下野 660 Tel 0557-68-3151

伊東線御代駅下車 (バスにて送迎) 詳細はパンフレット参照のこと。